

東京学芸大学機関リポジトリ基盤整備

－ 平成 17 年度最先端学術情報基盤の構築推進委託業務完了報告 －

1. 委託業務内容

東京学芸大学の教育及び研究成果・資源の公開・活用に向けて、国立情報学研究所の最先端学術情報基盤の構築事業に参加し、その一端を担う機関リポジトリを構築する。

1. 学術機関リポジトリ実装実験プロジェクトを発展させた東京学芸大学機関リポジトリにより、教育及び研究成果を永続的に蓄積・公開する情報基盤を構築する。
2. 東京学芸大学の教育総合データベースとのインターフェイスを開発し、既に蓄積された教育及び研究成果・資源を登録する。
3. 蓄積された情報について、インターネット経由でのオープンアクセスを可能とするとともに、標準化されたプロトコルにより国立情報学研究所へのデータ提供を行い、他機関リポジトリとの連携をはかる。
4. シラバスシステム、e ラーニングシステム及び教員研究業績データベースシステムなど、他の学内システムとの連携について検討する。

上記業務内容の達成のため、1) について、リポジトリの構築についての調査及びサーバ機器等を設置する、2) について、本学の紀要及びコレクションの全文・画像データ等の登録を開始する、3) について、ハーベスティングに使用される共通プロトコル「OAI-PMH」に対応するメタデータの作成について検討する、4) については、他システムとのデータ交換インターフェイスについて検討する。

2. 委託業務の成果

業務計画に基づき、以下のとおりの成果を得た。

1. については、機関リポジトリシステムについての調査を行い、サーバ機器及びソフトウェアを選定・導入し、機関リポジトリシステムを構築した。

2. については、紀要論文データについて、既存システムからのデータ移行方法について検証を行いながら、登録作業に着手した。貴重書コレクションの画像データについては、データ移行の手法についての検討を開始した。
3. については、OAI-PMH プロトコルへの対応を行い、国立情報学研究所からのハーベスティングの実験を成功させ、連携方法を確立した。また、ネットワーク上で論文等研究成果の電子データを特定するための、Corporation for National Research Initiatives (CNRI) が管理する永続的識別子の付与も可能とした。
4. 教育研究業績データベース等の学内データベースとの連携について、全学的な教員情報システムに関するワーキンググループの中で検討を開始した。

業務についての学内への周知については、全学の図書館委員会・情報基盤委員会等で事業の経過報告を行い、学内の合意形成に着手している。担当部門においては、図書館業務としてのコンテンツ電子化に加えて、全学の情報基盤整備も担当している関係で e ラーニングや教員情報システム等のシステム開発を一元的に行っていること、また、大学紀要の発行も行っているなど、機関リポジトリ形成に関連の深い業務に直接関わっている。今後、これらの学内体制を生かして事業展開を図っていく中で、学内のさらなる合意の形成と、コンテンツの拡充を目指し、機関リポジトリシステムについての広報を行ってゆく予定である。

東京学芸大学リポジトリ アドレス <http://ir.u-gakugei.ac.jp>

[連絡 先]	東京学芸大学 学術情報部 情報管理課 情報基盤整備室 学術ポータル 係	
	メールアドレス :	portal@u-gakugei.ac.jp
	電話番号 :	042-329-7221